

(社会保障)

平成21年度から平成25年度までの生活保護の被保護人員及び生活保護費の推移を見ると、いずれも増加しています。

平成20年度から平成24年度までの国民健康国民健康保険被保険者数及び医療給付額の推移を見ると、被保険者数は減少し、給付額は増加しています。

平成21年度から平成25年度までの国民年金受給権者数、被保険者数及び年金額の推移を見ると、被保険者数は減少し、受給権者と受給額は増加しています。

社会保障に関する主な指標

指標名	鳥取県	順位	全国	年次
*保護率(人口千人当たり)	12.47人	24	16.75人	24
老人ホーム定員数 (老人人口千人当たり)	28.8人	7	21.6人	24
居宅サービス従事者数 (老人人口千人当たり)	5.72人	30	6.72人	24

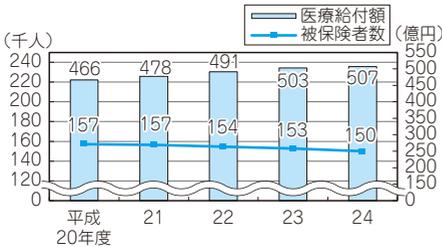
被保護実人員及び生活保護費の推移



※被保護実人員は1か月平均の人数

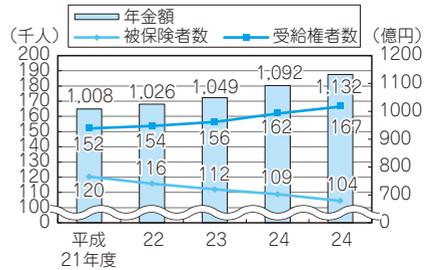
資料 厚生労働省「被保護者調査」、県福祉保健課

国民健康保健被保険者及び医療給付額の推移



資料 厚生労働省「国民健康保険事業年報」

国民年金受給権者数、被保険者数及び年金額の推移



※被保険者数は第2号被保険者分を除く。

資料 厚生労働省「厚生年金・国民年金事業年報」、日本年金機構鳥取年金事務所

主な社会福祉施設の状況 (平成24年10月1日現在)

単位：ヶ所、人

施設名			施設数	入所定員	施設名			施設数	入所定員			
生活保護	救護施設		2	150	児童福祉	児童自立支援施設		1	36			
	老人福祉	養護老人ホーム	4	410		福祉型児童発達支援センター		3	68			
特別養護老人ホーム		41	2,994	医療型児童発達支援センター		3	96					
軽費老人ホーム		29	1,177	障害児入所施設		4	295					
老人福祉センター		28	-	知的障害児		2	85					
有料老人ホーム		37	1,210	肢体不自由児		1	25					
障がい者	障害者支援施設	41	2,133	重症心身障害児		2	185	児童福祉	児童養護施設		5	236
	施設入所支援 (夜間支援サービス)	21	1,064	乳児院		2	35		母子生活支援施設		5	105
		生活介護	20	1,069		助産施設			4	53	保育所	
点字図書館	1	-	へき地保育所			1	40					

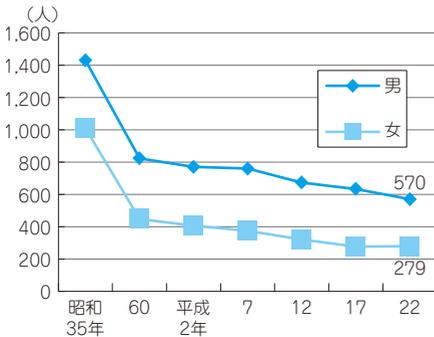
資料 厚生労働省「社会福祉施設等調査」

健康・医療

健康・医療に関する主な指標

指標名	鳥取県	順位	全国	年次
平均寿命（男）	79.01歳	40	79.59歳	22
平均寿命（女）	86.08歳	36	86.35歳	22
医師数 （人口10万人当たり）	279.6人	6	226.5人	24
看護師・准看護師数 （人口10万人当たり）	910.4人	13	698.6人	25

年齢調整死亡率の推移（10万人対）



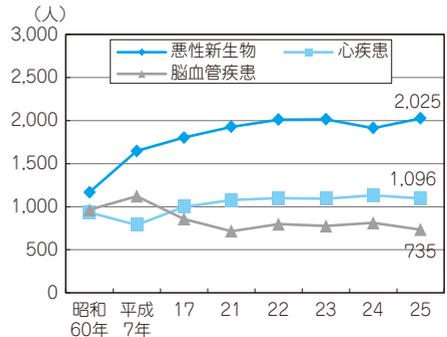
※基準人口は昭和60年人口モデル

（健康・医療）

昭和35年から平成22年までの年齢構成の変化を調整した死亡率は低下傾向にあります。

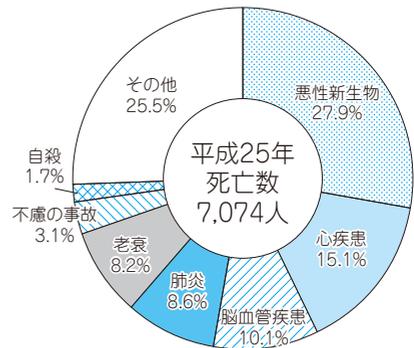
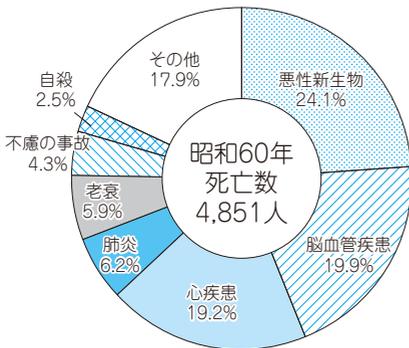
昭和60年から平成25年までの死因別死亡数の推移を見ると、「悪性新生物」による死亡数が最も多く、次いで「心疾患」「脳血管疾患」が2位もしくは3位となっています。

三大死因別死亡数の推移



資料 厚生労働省「人口動態調査」

死因別死亡数の割合の変化



資料 厚生労働省「人口動態調査」

(環境)

平成16年度から平成24年度までにISO14001を認証取得した県内の事業所数を見ると、平成18年度をピークとして、近年は減少傾向を示しています。

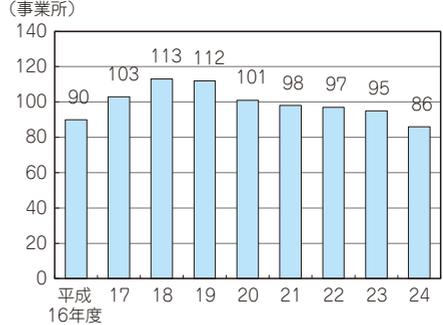
平成20年度から平成24年度までの鳥取県の一般廃棄物処理事業におけるリサイクル率は、近年上昇しており、平成24年度においても26.0%と前年より若干減少しましたが、全国平均より高い水準です。

平成20年度から平成24年度までの水洗化人口の推移を見ると、概ね増加傾向にあります。

環境に関する主な指標

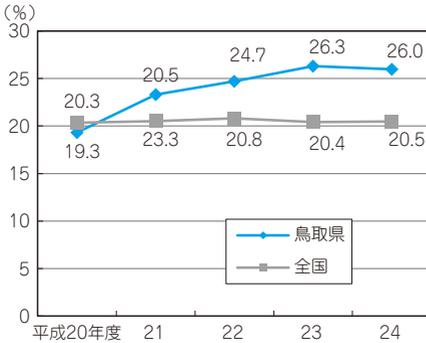
指標名	鳥取県	順位	全国	年次
*ごみ年間総処理量 (人口千人当たり)	356.1 t	39	331.4 t	24
リサイクル率	26.4%	4	20.4%	24
*1人1日当たりのごみ排出量	1,009 g	38	963 g	24

ISO14001認証取得事業所数の推移
(財)日本適合性認定協会による認証分)



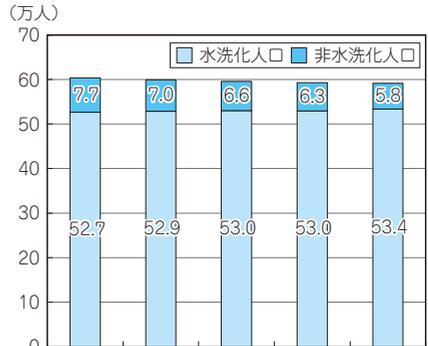
※取得数累計。資料 (財)日本適合性認定協会

リサイクル率の推移



資料 環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」

水洗化人口の推移



資料 環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」

一般廃棄物総排出量及びし尿収集量

区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
ごみ総排出量 (t)	206,886	208,577	209,834	219,363	217,879
計画収集量 (t)	179,902	182,455	180,883	194,755	193,582
直接搬入量 (t)	17,965	17,423	21,012	17,173	17,253
集団回収量 (t)	9,019	8,699	7,939	7,435	7,044
1人1日当たりの排出量 (g/人日)	939	953	964	1,011	1,009
し尿収集量 (kℓ)	133,166	132,688	114,217	221,341	108,839

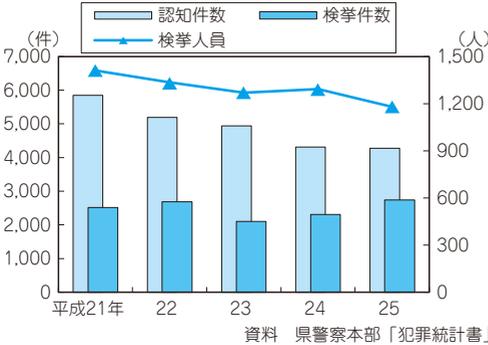
資料 環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」

防災・安全

犯罪・火災に関する主な指標

指標名	鳥取県	順位	全国	年次
*刑法犯認知件数 (人口1万人当たり)	74.0件	16	103.2件	25
刑法犯検挙率	64.0%	1	30.0%	25
*出火件数 (人口1万人当たり)	5.02件	42	3.78件	25

刑法犯認知・検挙件数及び
検挙人員の推移



(犯罪)

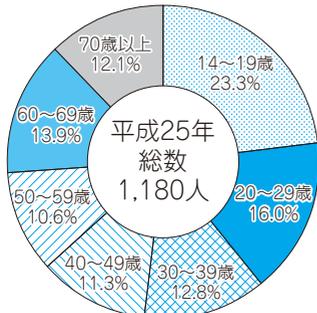
平成21年から平成25年までの刑法犯認知件数は減少傾向で、平成25年は4,279件でした。

平成25年の犯行時の年齢階級別刑法犯検挙人員の割合を見ると、「14～19歳」の占める割合が最も高く、次いで「20～29歳」となっています。

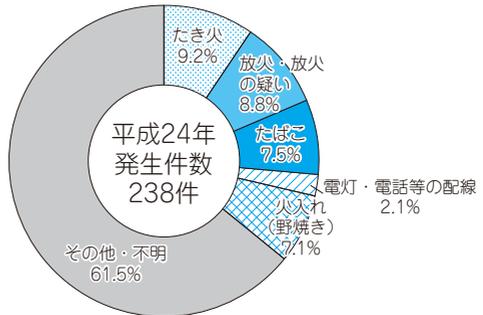
(火災)

平成24年の火災発生件数は238件で、前年に比べて16件減少しました。原因別火災発生件数の割合を見ると、「たき火」が最も高く、「放火・放火の疑い」次いで「たばこ」の順となっています。

犯行時の年齢階級別刑法犯
検挙人員の割合



原因別火災発生件数の割合



刑法犯 罪種別認知件数の推移

単位：件

年次	認知総数	窃盗犯	知能犯	粗暴犯	風俗犯	凶悪犯	その他
平成21年	5,845	4,393	227	172	44	24	985
22	5,189	3,892	144	187	35	20	911
23	4,941	3,799	157	157	25	16	787
24	4,313	3,292	176	178	39	18	610
25	4,279	3,215	167	160	42	18	677

資料 県警察本部「犯罪統計書」

（交通事故）

平成21年から平成25年までの交通事故の発生件数と死傷者数の推移を見ると、発生件数及び死傷者数共に年々減少しています。

平成25年の交通事故の状態別死傷者の割合を見ると、「自動車運転中」「自動車同乗中」、「自転車運転中」などの順となっています。

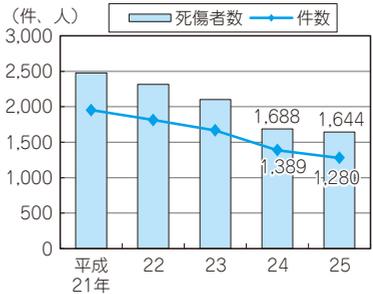
交通に関する主な指標

指標名	鳥取県	順位	全国	年次
*交通事故発生件数 (人口1万人当たり)	22.1件	1	49.4件	25
*交通事故死傷者数 (人口1万人当たり)	28.4人	2	61.7人	25
*道路交通法違反取締件数 (人口千人当たり)	46.3件	11	61.2件	24

（労働災害）

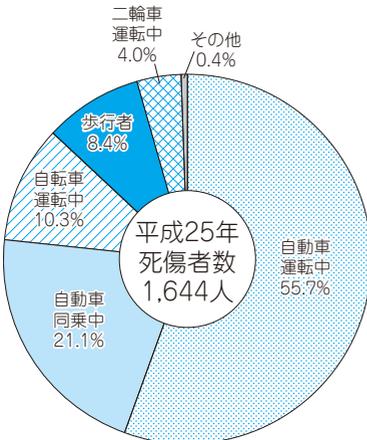
平成21年から平成25年までの資料による労働災害死傷者数の推移を見ると、平成23年が大幅に増加したのを除けば概ね同じ水準で推移しています。

交通事故の発生件数と死傷者数の推移



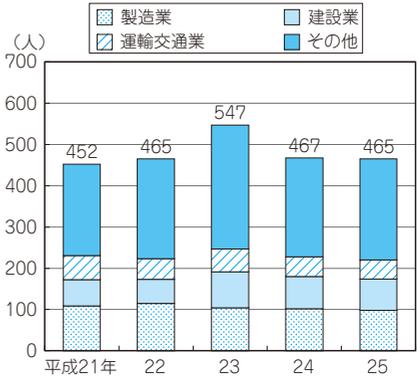
資料 県警察本部「交通事故発生状況」

交通事故の状態別死傷者の割合



資料 県警察本部「交通事故発生状況」

労働災害死傷者数の推移



資料 鳥取労働局「労働災害発生状況」

交通事故の年齢別死傷者数

単位：人

年次	総数	幼児	小学生	中学生	高校生	その他の少年	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
平成21年	2,476	29	74	33	61	69	452	438	333	331	342	314
22	2,315	35	61	40	70	74	429	375	336	357	262	276
23	2,102	31	69	44	64	52	395	390	293	289	247	228
24	1,688	23	39	19	50	40	296	328	275	222	201	195
25	1,644	29	51	26	42	42	227	315	266	234	211	201

資料 県警察本部「交通事故発生状況」